

新春来福



『公民館活動の原点を 見つめて』

小諸市教育委員会
教育長 小林 秀夫

市民の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、公民館活動に様々な形で関わっていただき、心より感謝申し上げます。

公民館は、第2次世界大戦後、焦土と化した国土の再興と、再び不幸な体制に巻き込まれないための民主主義の普及を目的に、昭和21年に誕生しました。

公民館について、要綱の中で、「常に町村民が打ち集って談論し読書し、生活上産業上の指導を受け、お互いの交友を深める場所である」と述べられています。

またその設置方法や



維持については、次のように記しています。

「上からの命令で設置されるものではなく、真に町村民の自主的な要望と協力によって設置せられ、創意と工夫と財力によって維持されていくことが理想である。」

公民館は、そこに住まう住民が主役となって「集い」、「学び」、「交流する」場として構想されたので

す。小諸市公民館では、公民館が誕生したころの原点をあらためて見つめながら、現在の市民ニーズや地域が抱える様々な課題に基づいて、各種学級・講座を開催いたします。

公民館活動のさらなる発展に向けて、本年も市民の皆様方のご参加とご協力をよろしくお願い致します。



『古人の跡を求めず、 古人の求めしところを求め』

小諸市公民館
館長 松本文一

市民の皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は

公民館を始め文化会館・働く婦人の家等文化センターの諸事業に対しご支援、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。広報こもろの昨年12月号に

小諸市動物園の特集が掲載されましたが、90年前の大正15年に他に先がけて創設された

ことは本当に驚きです。明治26年に開校した小諸義塾もそうですし、教育や文化に限りませんが、先人の小諸に対する思いや情熱・実践が小諸の伝統となり発展を支えてきたのではないのでしょうか。

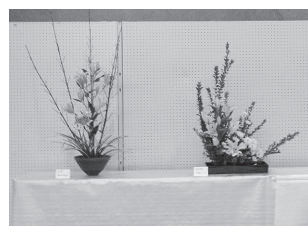
須坂市立墨坂中学校初代校長の増田新三郎先生が、伝統ということにふれて、松尾芭蕉の言葉を引用し「先人の努力を偲び『古人の跡を求めめるのではなく、古人の求めたものは何か』を追って日々の努力としたい。」とある記念誌に書いていらっしゃいます。成果や事象を保持継続して行くことも大切だが、何のため

に、何を求めて、どのような思いであったか、それを常に根に据え創意工夫し活動していく、それが真の伝統だとおっしゃっているのではないのでしょうか。

教育をことさらに考えられていた先人の思いに立ち返り、生涯学習の拠点として小諸市の活性化に寄与するよう努めてまいります。市民の皆様のご参加とご協力をよろしくお願いいたします。

ロビーコンサート・ 作品展示

文化センターでは、館内の共有スペースを日頃の活動の発表の場として、開放しています。ぜひ、ご利用ください。



小諸市文化協会 諸流華道展

【ロビーコンサート】 1日1団体

ロビーで団体やサークルの楽器、歌の発表など幅広くご利用いただけます。

【作品展示】

文化センター内に団体やサークルの作品を展示できます。

★いずれも募集要項がありますので、詳しくは文化センターまでお問い合わせください。

―お問い合わせ先―
小諸市文化センター

☎ 23・8880